



(徳島県)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	阿南市
②人口（※１）	７７，４６２人（ ）
③高齢化率（※１） （６５歳以上、７５歳以上それぞれについて記載）	６５歳以上 ２６，８％（ ） ７５歳以上 １４，７５％
④取組の概要	目的：社会参加活動を通して介護予防を推進する。 参加できる方：阿南市の第一号被保険者（要支援者及び要介護者を除く。） 内容：話相手・草刈り・洗濯物の整理・配食支援の見守り・レクリエーション等の指導または参加支援など 手続きの流れ：１、申請書記入し、研修を受講し登録。２、活動に参加。３、ボランティア手帳にスタンプを押す。
⑤取組の特徴	評価ポイント制度 ・集めたスタンプを評価ポイントに変える。 ・評価ポイントは、１，０００ポイントにつき１，０００円として算定する。（年度当たり５，００００ポイントを上限とします。）
⑥開始年度	２４年度
⑦取組のこれまでの経緯	２４年８月に受入事業所を集めて説明会を開く ２４年１０月の「広報あなん」に散らしを折り込む ２４年１０月開始 介護ボランティア活動保険に加入
⑧主な利用者と人数	参加者 ２９人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体：市 関連する団体（受入事業所：小規模多機能型施設６か所・グループホーム６か所）
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	財政支援：８８５，０００円
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	国：１，７７０，０００円 県：８８５，０００円
⑫取組の課題	ボランティア活動を通じて、地域に貢献し介護予防を推進するため。
⑬今後の取組予定	参加人数を増やす、介護予防対象者にならないように自分たちの役割を認識してもらえるように進めていきたい。いきいきとした自立への支援として。
⑭その他	





⑮担当部署及び連絡先	介護・ながいき課 ０８８４－２２－１７９３

- ※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

地域ケア会議の事例 1

阿南市介護・ながいき課

○65歳以上の方で介護支援ボランティア活動を等して地域に貢献することを奨励し、支援することにより高齢者自身の社会生活活動を通して介護予防を推進することを目的としています。

（要介護の認定を受けている方は除きます。）

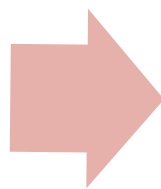
○平成24年度から実施し、平成25年5月現在29名が登録・活動中。

○介護支援ボランティア受入事業所は、現在12か所。

○活動内容：話相手・食堂内配膳・草刈り・レクレーション等の指導又は参加支援など。

○ポイント制度にしており、1時間のボランティア活動につき1スタンプ、ポイント数に応じて、介護・ながいき課から商品券が交付されます。

1, ボランティア本人から、市に来所してもらい申請し、研修後ボランティア手帳交付する。



2, 受入事業所に参加者の情報を通知する。

3, 受入事業所もしくは本人から連絡し調整してもらう。

地域ケア会議は、相談があった時に地域包括支援センターが状況確認し協議、地域ケア会議の開催が必要である事を判断した時に、個人であるのか、地域の方や支援者、市、警察などの参加を呼びかけるのかを決定し、設定する。

現在の状況

- ・81歳男性 独居 要介護3 アパート暮らし 生活保護受給者
- ・よく転倒し救急車で搬送される。犬を飼い部屋に居るため、昼は糞やおしっこでいっぱいである。自分でトイレもいけないため、ポータブルトイレ使用しているが、捨てることができず、ヘルパーが来ないときは、そのまましてしまったり、窓から放尿したりしている。本人の希望としては、死ぬまで犬と一緒に暮らしたいため、犬をおいて、施設に入所はできない。

課題

- ・緊急時の体制・衛生管理・健康管理・時間、曜日の感覚がない

今後の対応

- ・今後は関係機関と連携をとり、周囲の方々に協力えながら支援していく。金銭観理は権利擁護を考えていく。本人に意欲を持ってもらえる様に支援していく。

